



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年6月17日

NO. 16

校長 白水 聡

水泳指導開始

水温と気温が基準に達し、雷の心配もないというときには、水泳の学習を実施することができます。残念ながら6年生と4年生は延期となってしまいましたが、5年生は写真のように、今年初めての水泳指導をおこなうことができました。

水泳指導は命にかかわる事故が起こる可能性がありますので、担任の指導も普段より厳しいものです。笛の合図を守ることや飛び込まない、ふざけない、などの約束を告げています。



泳ぐための第一歩は、水に慣れることです。顔をつける、水中じゃんけん、バブリングやボビングができるか？といったことが、まずは大事です。さらに、写真のようなダルマ浮きができるか？そして、けのび→バタ足→クロールといった順に技能が向上していきます。息継ぎがうまくできれば克服したと言えます。苦手な子でも段階を踏めば、少しずつできるようになっていくのが水泳の醍醐味です。成長が実感できます。

私も子供のころ、水が怖くて洗面器で顔をつける練習をした覚えがあります。また、父親に市民プールに連れて行かれて、50mプールに何度も投げ落とされたことがあります。足は届かないし、溺れて水をたくさん飲んで大泣きしましたが、「平泳ぎを覚えれば壁まで戻れるぞ」と言われ、やり方を教えてもらい必死で泳ぎました。おかげで、その日のうちに平泳ぎがわかりました。ひどいやり方だとは思いますが、泳げるようにしてくれたことは忘れません。

命を守るためにも、水泳指導をとおして「水に浮く」ということは体験してほしいものです。少ない回数の授業ですので、カード忘れなどのないように気を付けさせてください。

夏を利用して親子でプールへ遊びに行かれるというのもいいですね。楽しく！ですよ（笑）

代表委員会



今回の議題は「矢上小メディア宣言を作ろう」でした。1日にメディアに触れる時間などについて、4年生以上の各学級で話し合ったことを、それぞれの代表児童が発表し合い、意見を交わしました。特に、メディアに触れる時間については2時間と4時間で意見が分かれ、様々な意見を出し合い、考えた結果「1日2時間まで」と決めました。さらに、「30分に一回の休憩をとる」「8時までにメディアの使用をやめる」ということも決めました。

時間を決めるにあたり、メディアが及ぼす心身への影響などを根拠に意見を交わすなど、合意形成を図りながら建設的な話し合い活動を進めることができました。

このように、自分たちで考えて取り組むということを、昨年度から行っています。あとは、「いかに実行できるか？」です。